SAWARABI
GROUP

みんなの力で、みんなの幸せを

創設者である山本孝之が脳卒中のリハビリ病院として山本病院を開業したのが 1962 年。以来、認知症のケアにとどまらず、リハビリ病院と授産所を中心に、高齢者、身体障がい者、知的障がい者のための施設を同じ敷地の中につくり、みなさんが自立を目指してリハビリや訓練を受けるとともに、お互いに助け合って暮らしてきたのが福祉村を中心とするさわらび会です。認知症への取り組み、医療と介護の連携、さらには子どもからお年寄り、健常者と障がい者の共生。ここにはそれが、ずっと昔からすべて揃っています。
「みんなの力で、みんなの幸せを」という理念に込められた、幸せとは自立して自由に生き、まわりの人に役立つ働きができる時に感じるものという想い。その想いを胸に、認知症をはじめとして医療や介護のさらなる研究を進めることはもちろん、さわらび会の存在や理念を世界中の人々にも広げ、すべての人がいつも笑顔で幸せに生きていける社会をつくるために、これからも全力をつくしていきます。

認知症介護の三原則

一. いつも暖かい愛情と笑顔で。
一. 決して叱らず、制止せず。
一. 今、できることをしていただく

地域密着型特別養護老人ホーム

天伯

Tel 0532-48-1113　Fax 0532-48-1123
E-mail tenpaku　@sawarabi.or.jp
住所 〒441-8122　愛知県豊橋市天伯町字六ツ美33-1

交通のご案内

バス利用：豊橋駅前バス停より豊鉄バス
「豊橋技科大線福祉村行」又は「豊橋技科大線りすぱ豊橋経由福祉村行」乗車「竜ヶ丘」下車　徒歩1分
自動車利用：国道23 号豊橋バイパス「七根インター」から1分

医療法人・社会福祉法人
さわらび会

www.sawarabigroup.jp

SAWARABI
GROUP

地域密着型特別養護老人ホーム

天伯

地域密着型特別養護老人ホーム

天伯

全室個室
ユニット型特養

バス停・インターから1分	超低床ベッドで安心の対応
閑静で過ごしやすい立地	140㎡以上の広いリビング

施設の特色

地域密着型特別養護老人ホーム「天伯」は、豊橋市野依町の福祉村内にある特別養護老人ホーム「第二さわらび荘」のサテライト施設として 2014 年に開設しました。東三河 8 市町村（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村）の方がご利用可能です。協力病院である「福祉村病院」へは職員付添による受診が可能です。

定員 特別養護老人ホーム29名
短期入所生活介護10名（全室個室）

面積 鉄筋コンクリート造 2階建（1774.61㎡）

利用料 月15.5万円程度
※介護保険の負担割合、介護保険限度額認定証の有無によって変動あり

国道23号線の七根インターから自動車で1分、豊鉄バスの竜ヶ丘バス停から徒歩1分と、自動車を持っている方も持っていない方もアクセスしやすい立地です。床から11㎝の高さまで下がる超低床ベッドを3台保有し、ベッド上での立ち上がりがある方、ベッドからの転落のリスクがある方も安心して生活していただけます。施設自体が少し奥まった場所に建っている為、騒音に邪魔されずに静かな空間で生活していただけます。共同生活室、いわゆるリビングは140 ㎡以上の面積があり、基準の7倍以上の広さを誇ります。居室も12㎡以上あり、プライベートを確保しながらも広々とした空間で生活していただけます。

サービス内容

特別養護老人ホーム

概ね要介護3以上の常時介護が必要で在宅での生活継続が困難な方に、施設サービス計画に基づいた入浴・排泄・食事などの介護・機能訓練・健康管理を受けていただく施設です。

短期入所（天伯短期入所生活介護）

期間限定で短期間入所し、日常生活のお世話などを受けていただくことができるサービスです。

お問い合わせ：0532-48-1113